



水稻有望系統「島系68号」の特性

「島系68号」は「コシヒカリ」に比べて倒伏しにくく、高温登熟性に優れるため玄米品質が良く、食味評価も良好です。このため、平坦部の「コシヒカリ」に代わる品種として、山形県育成の「つや姫」とともに、県内各地での現地適応性について検討中です。

1 来歴

「島系68号」は島根県農業試験場（現 農業技術センター）において、2000年に「こしいぶき」を母、「島系51号(コシヒカリ/チヨニシキ)」を父として人工交配を行い、育成した系統です。

2 「コシヒカリ」と比較した主な特徴

- 出穂期は1日程度遅く、成熟期はほぼ同等。
- 稈長が約10cm程度短く倒伏しにくい。
- 穂長は長い。
- 収量性及び玄米千粒重はほぼ同程度で、外観品質は良好で優る。
- 穂発芽性は同等で難。
- 葉いもち抵抗性は中、高温登熟性はやや強でいずれも優る。
- 食味は、同等で良好。



図1 稲の姿

草丈が短く倒伏に強い

表1 「島系68号」の特性

品種名	島系68号	コシヒカリ
出穂期 (月. 日)	7. 30	7. 29
成熟期 (月. 日)	9. 03	9. 03
稈長 (cm)	74. 5	84. 8
穂長 (cm)	20. 4	19. 1
耐倒伏性	強	弱
穂発芽性	難	難
葉いもちほ場抵抗性	中	弱
高温登熟性	やや強	やや弱
精玄米重 (kg/10a)	507	532
玄米千粒重 (g)	23. 2	23. 1
玄米外観品質	3. 8	5. 1

注1. 水稻奨励品種決定調査標肥区の成績(H20～H22年)。移植期は5月第2半旬。

2. 玄米外観品質は1(上上)～9(下下)の9段階で評価。

表2 「島系68号」の食味官能試験結果

外観	香り	味	粘り	硬さ	総合評価
-0.03	-0.05	0.02	-0.02	-0.04	-0.04

注1. 値は2007年12月～2011年1月に6回実施した食味官能試験結果の平均値。

2. パネラーは農技C職員。

食味はコシヒカリと差が無く良好

問い合わせ先：栽培研究部作物グループ（担当：田中 亙）

TEL 0853-22-6946
E_mail:nougi@pref.shimane.lg.jp